

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人青鳥会 地域生活支援事業所ほほえみ

公表日 令和 8年 2月 25日

利用児童数 29名(きょうだい児の為、2件重複)

回収数 17

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17					今年度、仕切りを購入しました。広さは十分ありますので必要に応じて活用しています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16			1		基準人員以上の支援者を配置しています。(定員10名に対して5~6名)午前クラスや支援度によって個別に近い体制で支援を行うようにしています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16				1		絵カードやイラスト等を活用して見通しが持てるように今後も継続していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17						毎日の清掃、消毒を行い衛生的に過ごせるよう今後も取り組んでいきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1					専門職(言語聴覚士、作業療法士、心理士)からの支援は、来年度も外部委託契約を継続予定です。必要に応じてセラピストとの面談等を設けていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16			1			新年度に改めて全体にお知らせしていきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	17						アセスメント(課題分析/強み)などを行いながら個別支援計画を今後も作成します。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17						発達支援(本人支援)を軸に、ご家族の移行期のサポートも行います。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17						チームで支援計画を意識、目標達成ができるよう支援を心掛けています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1					活動プログラムを通して個々の支援目標を達成できるように今後もチームで計画立案を行います。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	1	5		・項目の意味を何を指しているかが、分かりません。	法人内の放課後等デイサービスとの交流はありますが、地域の保育所等との交流はありません。今後、必要に応じて企画の検討を行います。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17						重要事項や利用者負担等について、ご契約時にお伝えしています。支援プログラムも年度初めや必要に応じて、その都度お知らせいたします。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17						今後も定期的な面談で支援内の説明をご説明させていただきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17						来年度も保護者向けの研修(セラピストによる講話)や情報提供の機会(就学前説明会/年少中児保護者対象)を設けていきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1					看護師とも連携を図りながら、お子さんの健康観察等を必要に応じて行っています。また、面談、連絡帳、参観、お迎え時に共通理解を図れるよう取り組んでいきます。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1			面談、連絡帳、参観、お迎え時に共通理解を図れるように取り組んでいます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17				今後ご家族、お子さんの気持ちに寄り添いながら支援していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17				きょうだいイベント、親子参加イベントは年3回程計画しました。来年度も交流の機会として計画していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1			ご相談やご意見があった場合には、すぐに対応するよう心掛けていきます。また、引き続き相談窓口の設置も契約時にご説明していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1			連絡帳を活用して、療育での様子や必要な情報共有を行うようにしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	1		2	・ホームページ、SNSを見ていないです。 活動予定表や年間行事予定表は年度初めにメールに送信しています。年度途中からのご利用の方は、自己評価の結果（アンケート）を公表した際には、お便りなどを通してお知らせいたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17				契約時に頂いた個人情報の取扱い同意書に基づき使用させていただいています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16		1		契約時に訓練マニュアル等をお渡ししてきました。感染症の対応に関しては、安心安全メールにてお伝えしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17				年間計画に沿って避難訓練を実施してきました。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1		2	避難訓練、交通安全教室等を計画的に実施してきました。また、送迎車両の置き去り防止用ブザー訓練も今年度行いました。毎月のお便りなどで、来年度もお伝えしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1		4	・事業所で怪我をしていない為、わかりません。 怪我の程度によりますが、電話連絡や連絡帳等でお知らせしています。大切なお子さんをお預かりしていることを支援者も意識し、安全管理に努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17				・今後も安心して通うことができるように、サポートします。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	1			・楽しく通うことで主体性が発揮できるため大事だと感じています。また発達支援の成果（効果）にも繋がりがやすいです。 ・いきしぶり」などあれば面談等でお知らせいただければ幸いです。事業所としての対応もご相談させていただけたらと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1			・今後も地域に必要とされる事業所を目標としていきます。